Naoko Tatsumi News

茨木市議会議員

たつみ直子通信

2023 • 第7号

[発行] たつみ直子
〒567-0048
茨木市北春日丘2-1-10
TEL 072-625-0001
FAX 072-625-9999

公式ホームページ
https://ibaraki-tatsumi.com/

3月本会議での質問（要約）

01 誘致病院は民設民営で！

誘致病院の事業者が大阪医科薬科大学に決定し、いよいよ協議が始まりました。
事業者は、建設費及び、運営費の財政的援助（20億円、年間5億円）を希望しているようですが、既存の病院への同等の補助（ICUの運営補助、小児救急設置の補助）以外は、本市の立場として、民設民営が大原則だと考えます。市民の皆様のご負担とならぬよう財政的援助は慎重に検討されるよう要望いたしました。

02 「ダムパークいばきた」来園者だけでなく周辺住民の方々の安全対策を！

「ダムパークいばきた」へは年間100万人の来場者を見込んでおり、自家用車の入場、退場の動線、バス降車後のバス停からの動線についても安全を十分担保し、対応して頂きたいが、周辺住民の生活環境の変化にも十分配慮して頂きたい。特に、全戸移転された生保地区をはじめとした周辺住民の方々は立ち退き等のご協力を頂き、今日があることをしっかり認識して欲しい。茨木亀岡線と生保地区の入口部の交差部への信号機の設置実現に向け、私からもしっかり要望いたしました。

03 災害、有事の際の対応の強化を！

質問 近年、有事というのは台風や地震だけではなく、昨今の世界情勢を鑑みると、北朝鮮による弾道ミサイル発射が頻発し、Jアラートが発令されることがある。Jアラートは「頑丈な建物や地下」に避難せよと指示するが、その際、茨木市民や市内にいる人はどこに逃げ込めばよいのか。

答弁 府が指定している避難施設であるが、小中学校等、一時避難地、広域避難地の計89か所であるが、発令時において取れる最善の避難行動が求められるので、直ちに近隣の身を守れる頑丈な建物への避難を願う。

要望 台風等の自然災害とミサイルが着弾する可能性がある場合の避難施設が同じでいいとは到底思えないので、今後検討すべきと考える。また、有事の際の避難についてもしっかり周知し、避難訓練の実施についても検討して欲しいと要望しました。

民生常任委員会での質問（抜粋）

学童保育の待機児童問題を切り口に、私の考える少子化対策と子育て支援

保育園も学童保育も待機児童が生じています。市は待機児童解消に向けて、日々努力しています。
予算の問題、それだけで解決しないのが現状です。受け入れ人数を増やしたくてもそもそも学校の教室の数が足りていない、学童保育指導員も足りない。用地が確保できる学校はプレハブを建てて対応したり、給与面で配慮したり様々手を打っています。
しかし、どうしても私は不思議でならないのです。
今いる子供の人数に対して、足りない、足りた、と言い、あろうことか、出生率を増やそうとしているのに、「今後も子供の人数は減少傾向にある」というのはおかしくありませんか。増やすのだ、と言ってるのに、自然に減っていきます、だから保育園増やすのも慎重に、、、って逆じゃないですか。出生率を上げるのでしょ?そのために手を打つのでしょ?
私は、国や市に言いたい。生まれた子供の人数、ではなく、女性が本当に「生みたい」人数で考えるべきであると。
本当は3人欲しかったけど、保育園も入れないし、育児もたいへんだし、2人しか、1人しか無理、というような話は無数に聞きます。こういった女性が本当に生みたい人数を産んで頂いたら、少子化は解消するのではないでしょうか。生みたい人数を安心して生んで下さい。いつでも何人でも保育園も学童保育も受け入れ体制は整っています。という力強いメッセージが必要です。
保育園を希望する、しないに関わらず、生まれてくる子供の人数分最初から用意すべきです。
今いる子供の人数ではなく、今後5年後、10年後、どうなっていたいか、私たちの意思を示さなくてはいけません。

活動報告

Activity Report

節分豆まき

春日丘八幡宮の三年ぶりの豆まきに
多くの方が来てくださいました。
私も初めて豆をまかせて頂きました。

防衛・防災フェスティバル司会など

近頃、司会を
頼まれる事が増えました。
有難いことです。

遂に時計設置！

JR茨木駅西側に遂に時計が設置されました！
地域の皆様のご要望を受け、市と協議しておりましたが、縁あって茨木オークライオンズクラブさんから寄贈の申し出があり、設置して頂くことができました。
市民の皆様にたいへん喜んで頂き、私もとても嬉しいです。

おおいわ坂と安威川ダム

絶景。新しい茨木の新名所になりそうです。

西中学校前の歩道が綺麗になりました

以前はとても狭い歩道で人がすれ違うのも困難で、自転車も危険でしたが、歩道の幅を広げ、車道も反対側に拡張できました。
市内屈指の危険な通学路の改善を、と以前より要望していましたが、今回新年度に合わせて工事を完了してもらいました。

はじめての民生常任委員会

2月臨時議会において
民生常任委員(2年間)、
茨木市土地開発公社理事を
拝命いたしました。

編集後記　「ヘアドネーションをしました！」

NAOKO POSTSCRIPT

「なおちゃんの髪の毛は綺麗やから貰った人は喜ばれるよ」との一言にはっとしたのが約2年前。こんな私でもまだ人の役に立つことができるのなら、と髪を伸ばし始めました。途中たいへんでしたが、この支援を知った時の感動を胸に頑張って伸ばし、遂にカット。38センチありました。切った髪は、病気でウイッグを必要としている子供たちに届ける活動をされているNPO法人にお送りしました。

辰見 直子（たつみ なおこ） プロフィール

茨木生まれ・茨木育ち

- 昭和49年　9月2日茨木市北春日丘に生まれる
- 昭和56年　茨木市立沢池小学校入学
- 昭和62年　茨木市立西小学校卒業
- 平成 2年　茨木市立西陵中学校卒業
- 平成 5年　大阪府立春日丘高校卒業(陸上部)
- 平成 9年　京都女子大学文学部卒業
  国際ロータリー第2650地区ガバナー事務所 入職
  ロータリー財団等の職務に携わりながら、自身も国際協力の仕事を担当し、ミャンマーやチベット、パヌアツ等へのプロジェクトに参加。
- 平成15年　国際協力機構（JICA）の青年海外協力隊（JOCV）に合格し、2年間の任期でネパールのポカラに赴任。母子保健や公衆衛生などの事業を現地のスタッフらと協力し、活動。
- 平成21年　（一財）茨木市保健医療センター 入職
- 令和 3年　茨木市議会議員選挙 初当選

［家族］長女・長男の3人家族
［趣味・特技］ヨガ、ネパール語、クイズ（テレビ番組「アタック25」に出場し、優勝経験あり。その年のチャンピオン大会にも年間3位として出場）